

「まごころ」を込めた葬儀をできるだけ安く 信頼ある地域の葬儀社として尽力する



萩原 本日は、葬儀を手掛けて三十年あまりの歴史を持つ(株)セレモの森さんをお訪ねしています。早速ですが、杉淵社長がこの仕事をスタートされたきっかけからお聞かせ願えますか。

杉淵 名俳優である萩原さんを前に恥ずかしいのですが、私はもともと役者を目指して青森から上京して参りまして、その活動中に葬儀社でアルバイトを始めたのが原点です。実に様々な葬儀に立ち会わせて頂き、その数は八、〇〇〇件を下らないと思います。

萩原 その豊富な経験が独立への大きな原動力になったのですね。

杉淵 また、三十年も勤めますと良いところも悪いところも色々見えてきます。「葬儀に対する自分の思いとは違い過ぎる、最終的に自分でやるしかない」と決断したのは昨年六月でした。

萩原 映画「おくりびと」の大ヒットもあり、一般の方の葬儀に対する思いや考えは大きく変化していると思いますが、社長の考える葬儀のあり方といいますと。

杉淵 一番の問題はコストです。長引く日本経済の弱化的中、将来への不安は増すばかりですし、葬儀においては「一万円でも安く済ませたい」というのが多くの方の本音ではないでしょうか。こうした思いに私どもはお応えしたいと考えています。葬儀は費用を掛ければ良いとい

うものではありません。私どもはこれまでの経験の中で、低コストでも「まごころ」のこもった立派な葬儀を執り行なえるノウハウを蓄積してきたという自信を持っています。価格に関係なく、甲う気持ちは同じです。

萩原 「まごころ」を忘れることなくお客様のニーズを的確にとらえる。まさに今求められている葬儀の形ですね。

杉淵 価格が下がれば当然品質も下がるものですが、私どもは可能な限りそれをせず、逆に一万円が十万円もの価値になるような葬儀を手掛けたい—会社設立以来ずっとそう願いつつ取り組んでまいりました。そのためにも、例えば自社式場を持つたり独自の葬儀形式をつくったりなど、規模の拡大は決してしません。亡くなった方とご遺族のため、心を込めて一生懸命働くことが、これから先ずっと変わらぬ私どもの使命であると考えています。

萩原 葬儀は特に費用の面で色々と不明瞭なこともありますから、本当に信用できる業者さんが身近にいるというだけで心強いですね。

杉淵 あらゆる面で必ずご満足頂ける提案ができることを確信しています。事務所はいつもオープンにしておりますので、気軽に立ち寄って何でもご相談頂ければと思います。

萩原 これからも「頼りになる街の葬儀社」としてご尽力下さい。

(株)セレモの森

東京都小金井市本町2-19-21
TEL.042-401-2755 FAX.042-401-2750
<http://ceremonori.com/>

対談

代表取締役

杉淵 健一
厚生労働省認定
1級葬祭ディレクター

インタビュー

萩原 流行

【俳優】